

大阪

生演奏で宗歌斉唱

音楽鑑賞会で子どもたちに笑顔

1月22日、大阪市天王寺区の光聖寺（秋田光哉住職）が営む蓮美^{れんび}幼児学園の3つのナーサリー（保育所）の園児約150名が市内のホールに集まり、大阪教育大学の卒業生、在校生でプロとしても活動する演奏家7名を招いて音楽鑑賞会を行った。

まずは、園歌としている浄土宗宗歌^{しゅつぶつ}「月かげ」を園児たちが演奏にあわせて元気に斉唱。「アナと雪の女王」や「ドレミの歌」などの演奏が始まると、子どもたちは自然と歌を口ずさみ笑顔があふれた。また、バイオリンやトランペットなどの楽器紹介では初めて見る本物の楽器を前に、興味津々の表情で説明を聞いていた。



元気いっぱい唱歌う園児たち

秋田師は「長年教育者として力を注ぎ、昨年亡くなった父は『音楽が好きなのは優しい気持ちがある』と話していました。この鑑賞会でプロの音楽に触れ、他者への思いやりの心を育んでもらいたい。父が愛した音楽で子どもたちと一緒に追悼することもできました」と語った。